



す だ

## 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・民権クラブ

須田こうへい プロフィール

- 神奈川県議会議員(横浜市旭区選出)→30,961票でトップ当選
- 南河内選・立憲民主党・民権クラブ
- 早稲田大学高等学部卒業 / 栄徳学園卒業
- 元・江田厚司公設秘書・あおやぞう一歩秘書、古賀茂明Forum4メンバー
- コンサル会社を経て、転入車ディーラー取締役。後に保険代理店代表、民間経営者×秘書家録の「現場力」

- 政治信条「改革はするが、戦争はしない」  
「政治は社会的弱者のためにある」
- 文教常任委員会…WITHコロナ時代の教育改革を推進
- 学童保育、ボーイスカウト・ガールスカウト、女性活躍、武道振興(※柔道初段)、海外研修等の推進所属
- 元・横浜市青少年指導員 / 南本宿在住

## 「ピンチをチャンスに!」…コロナ新時代の改革を推進

新型コロナウイルス感染症拡大により、医療的にも経済的にも大変深刻なダメージを受けております。しかし、前を向いて力強く県政を再生させていかねばなりません。今こそ、「ピンチをチャンスに」の発想が必要です。かつては時差通勤もままならなかったところ、コロナ禍の影響で急速にリモートワーク導入が進みました。WEBミーティングが当たり前になることで、利便性を実感した方も多いのではないのでしょうか。自治体のDX(=デジタル変革)をコロナ新時代の重点政策とし、住民目線での行政サービス向上に努めてまいります。

## ICT化≒効率化を超えた「新しい価値」の創造へ

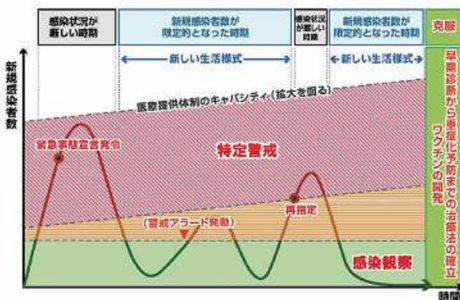
かつて、ICT化の主目的は業務効率化(コスト削減や省人化等)でした。県民の皆様への血税で運営される以上、もちろん自治体の行財政改革は必要でしょう。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、人との接触を減らす「新しい生活様式」がはじまりました。その中で、DX(デジタルトランスフォーメーション)によって、接触を減らしながらも県民の皆様への行政サービスをより充実させることが出来ます。DXは行政の効率化の文脈だけでなく、あくまでも住民本位で新しい価値や新サービスが生まれることが重要なのです。

例えば、インターネット投票の実現では、投票の人的負担を軽減するといった効率面だけでなく、海外に滞在する日本人(約140万人)の投票がより簡便になり、憲法で保障される参政権がしっかりと担保される点に真の価値があります。外出が難しい高齢者やご病気の方にとっても意味があるでしょう。デジタル化によって時間と場所の制約がなくなった身近な事例として、コンビニでの住民票発行が実現しました。密集・密接を避けなければならない今、紙一枚のためだけに平日に休みをとり、本人が役所に出向き、順番待ちの後、手書き書類にハンコを押して…という旧態依然のやり方で本当に良いのか、議論が必要でしょう。

では、県政にとって、すなわち県民の皆様への生活にとっての「新しい価値」とは何でしょうか。それを定義するために必要なのは、県がどんな社会を目指すのか、将来のビジョンと今やるべきミッションをしっかりと掲げることです。「ともに生きる社会」などの理念をキャッチコピーに終わらせず、社会にいち早く実装するために、県が今まで積み上げてきた努力に加え、テクノロジーの力も活用していくことが重要です。

今年度所属の文教委員会でオンライン教育のあり方が議論されます。かながわ教育ビジョンでは教育目標として「自己肯定感」を基軸に掲げています。その実現のためには、一人ひとりの習熟度に応じて無理なく学習できる環境づくり(個別学習支援システムの導入)や、より主体的に学びの場に参加していく仕組みづくり(事前に授業動画を配信し、復習・意見交換の場として学校を活用する「反転学習」の実践)が有効です。政治は「未来をデザインする仕事」、AI時代を迎えるにあたり最適な教育を提案してまいります。

# 命と心を守る県政を!～緊急事態宣言解除後の神奈川ビジョン～



▶左図の通り、新型コロナウイルスの完全収束には早期診断やワクチン等の治療法が確立されるか、あるいは医療崩壊を防ぎながら集団免疫の獲得に至るかしかりません。

県民の皆様のお安心・安全のために、「補償なくして自粛なし」を訴え、支援策の拡充を働きかけてまいります。

また、金銭面だけでなく、「心のケア」も大切になります。文教委員会では、子どもたちの学びの保障に加え、不登校や児童虐待の問題に取り組めます。

## 経済活動の緩和



新型コロナウイルス感染症モニタリング状況

▶経済活動の緩和と医療体制の維持の両立が急務です。「神奈川アラート」は感染状況、医療状況、県独自の監視体制の状況で総合的に判断されます。左記QRコードから最新情報をご確認下さい。

# カジノ誘致を撤回し、命と暮らしを守るコロナ対策へ!

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すためには多額の費用が必要です。横浜市の財政調整基金も残り28億円と激減する中、市には昨年度はカジノ関連に補正予算2億6000万円が、今年度は4億円ものカジノ推進予算がつきこまれました。カジノは時計も窓もない密室で、密集・密接状態でギャンブルをさせ、IR全体を賄う構造です。カジノは「3密」そのものであり、ラスベガス・サンズが日本進出を断念したように、もはや成り立ちません。横浜市は即刻、IRカジノ誘致を撤回し、予算と人員をコロナ対策へと回すべきです。

## ■新型コロナウイルス感染症陽性者・接触者相談センター

新型コロナ感染症患者との接触歴のある方の相談、同感染症の疑いに該当する方を医療機関につなぎます 045-664-7761

## ■神奈川県 新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

(1) 発熱や軽い咳などの症状のある方や感染の不安のある方、健康・医療に関すること (9) 協力金に関すること (2) 緊急事態宣言や特別措置法に関すること (休業と外出自粛の要請に関すること) (3) 経営相談に関すること (4) その他 045-285-0536

## ■横浜市 新型コロナウイルス感染症コールセンター

感染症の特徴、予防方法、有症時の対応など、新型コロナウイルス感染症に関する全般的なご相談にお答えします 045-550-5530

最新情報はfacebookで発信中!



ご意見お待ちしております! Fax:045-444-9445

お名前:

お電話/携帯:

ご住所:

須田こうへい事務所 〒241-0022 横浜市旭区藤が丘2-9-11  
TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445

ホームページ <https://www.sudakohei.net>

Eメール: [sudamame.net@gmail.com](mailto:sudamame.net@gmail.com)